



2021年1月4日
三井住友DSアセットマネジメント
チーフマーケットストラテジスト 市川 雅浩

市川レポート

米ジョージア州上院決選投票の注目ポイント

- 上院の残り2議席はいずれもジョージア州の議席、1月5日の決選投票で上院の多数党が決まる。
- 決選投票で民主党が2議席獲得ならば大統領と上下両院を民主党が主導するトリプルブルーに。
- 市場にとって景気対策は好材料だが増税は懸念材料であり株価のある程度の調整はやむをえず。

上院の残り2議席はいずれもジョージア州の議席、1月5日の決選投票で上院の多数党が決まる

米国では2020年11月3日、大統領選と同時に米上院選が実施されました。選挙前の上院議席は、定員100議席のうち、共和党が53議席、民主党が47議席（無所属含む）を占めていましたが、選挙の結果、共和党は50議席（非改選30議席）、民主党は48議席（非改選35議席）を確保しました。残る2議席については、いずれもジョージア州の議席となっています。

ジョージア州の上院選では、改選を迎えた1議席と、引退した議員の補欠選挙の計2議席を巡って投票が行われましたが、いずれも過半数を獲得した候補者がいなかったため、それぞれ得票率1位と2位の候補者が、2021年1月5日の決選投票に臨むことになりました。改選1議席を争うのは、共和党のパーデュー上院議員と民主党候補のオソフ氏で、補欠選1議席を争うのは、共和党のロフラー上院議員と民主党候補のワーノック氏です（図表1）。

【図表1：米ジョージア州上院決選投票の候補者】

改選 1議席	デビッド・パーデュー氏	共和党上院議員。6年前に初当選。トランプ氏への強い忠誠心、庶民的態度、知名度の高さを誇る。
	ジョン・オソフ氏	民主党候補。ジャーナリストで、3年前に30歳の若さで下院議員選に出馬した経験を持つ。
補欠 1議席	ケリー・ロフラー氏	共和党上院議員。共和党ジョニー・アイザクソン前議員が2019年に健康上の理由から任期半ばで辞任したため、後任に任命。
	ラファエル・ワーノック氏	民主党候補。ジョージア州南東部の町サバナの公営住宅で育ち、神学の博士号を持つ。数十年に及ぶ牧師経験から演説がうまいとの評価。

(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：トリプルブルーで予想される主な変化】

高官人事	上院での人事選定がスムーズに進み、民主党のリベラル派が有力ポストを得ることも可能になる。FRB人事にも影響する見通し。
増税	連邦法人税率の引き上げ（21%から28%へ）や、富裕層の増税（最高税率を37%から39.6%へ引き上げ）などが実施される可能性が高まる。
予算審議	財政調整法に基づく審議により、上院民主党が過半数で法案を可決することが可能になる。約1.4兆ドルの増税を財源に約2.5兆ドルの財政赤字拡大を加えた約4兆ドルの景気対策など、バイデン政権の財政政策が現実味を帯びる。

(注) トリプルブルーとなった際、バイデン政権の政策運営上で予想される主な変化。
(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成



決選投票で民主党が2議席獲得ならば大統領と上下両院を民主党が主導するトリプルブルーに

米政治専門サイト「リアル・クリア・ポリティクス」の世論調査（2020年12月14日から27日までの平均）によれば、オソフ氏の支持率は49.3%と、パーデュー氏の支持率48.5%を0.8%ポイントの僅差で上回っています。また、同じ世論調査において、ワーノック氏の支持率は49.8%、ロフラー氏の支持率は48.0%となっており、ワーノック氏が1.8%ポイント上回っています。

支持率の差はわずかですが、仮に民主党候補2名が勝利すれば、民主党も共和党と同じく50議席を確保することになり、上院の採決で賛否が50対50となった場合は、上院議長を務める副大統領の一票で決まります。次期副大統領には民主党のハリス上院議員が就くため、ジョージア州の決選投票で民主党が2議席を獲得すれば、大統領と上下両院を民主党が主導する「トリプルブルー」（青色は民主党のシンボルカラー）となります。

市場にとって景気対策は好材料だが増税は懸念材料であり株価のある程度の調整はやむをえず

トリプルブルーとなれば、バイデン政権の政策運営上、大きな変化が予想されます（図表2）。例えば、上院での予算審議については、「財政調整法」に基づく審議により、民主党が過半数で法案を可決することができます。そのため、バイデン政権の財政政策（約1.4兆ドルの増税を財源に約2.5兆ドルの財政赤字拡大を加えた約4兆ドルの景気対策）が現実味を帯びます。

この景気対策により、2022年と2023年の米経済成長率は、2%ポイント程度押し上げられると推定されます。市場への影響を考えた場合、景気対策は好材料ではあるものの、増税は懸念材料です。米大統領選の結果、トリプルブルー回避（すなわち増税回避）の見通しとなったことで、米国株が上昇した経緯を踏まえると、トリプルブルーの実現により、増税の見通しが強まれば、株価のある程度の調整はやむをえないと思われます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会